

平成 26 年度仙台市図書館利用者懇談会実施状況

1 懇談会実施の目的

図書館を利用している人々の様々な意見を直接伺い、図書館サービスの向上につなげる。

2 実施日時

市民図書館 平成 27 年 2 月 4 日（木）13 時 30 分から 15 時

泉図書館 平成 27 年 1 月 24 日（土）13 時 30 分から 15 時

宮城野図書館 平成 27 年 2 月 18 日（水）13 時 30 分から 15 時 15 分

若林図書館 平成 27 年 2 月 25 日（水）13 時 30 分から 15 時

太白図書館 平成 27 年 2 月 19 日（木）13 時 30 分から 15 時

広瀬図書館 平成 27 年 3 月 8 日（日）13 時 30 分から 15 時

榴岡図書館 平成 27 年 3 月 7 日（土）13 時 30 分から 15 時

3 会場及び参加者

市民図書館 せんだいメディアテーク 2 階スタッフ会議室 12 名

個人利用者 3 名、小学校 1 名、児童館 1 名、ブックトークボランティア団体 1 名、
地域文庫 1 名、市民図書館職員 5 名

泉図書館 泉図書館 2 階大研修室 10 名

利用者 2 名、読み聞かせボランティア 1 名、書架整理ボランティア 1 名、地域文庫
1 名、泉図書館職員 5 名

宮城野図書館 宮城野図書館視聴覚室 11 名

個人利用者 2 名、小学校 1 名、児童館 1 名、ボランティア団体 1 名、市民センター
2 名、宮城野図書館職員 4 名

若林図書館 若林図書館 2 階視聴覚室 10 名

個人利用者 2 名、読み聞かせボランティア 1 名、図書修理ボランティア 1 名、小学
校 1 名、市民センター 1 名、若林図書館職員 4 名

太白図書館 太白図書館地下 1 階視聴覚室 13 名

利用者及び配架ボランティア 3 名、おはなし会・対面朗読ボランティア 3 名、地域
文庫 1 名、小学校 1 名、太白図書館職員 5 名

広瀬図書館 広瀬市民センター 2 階会議室 13 名

個人利用者 4 名、読み聞かせボランティア 2 名、広瀬図書館職員 7 名

榴岡図書館 生涯学習支援センター5 階会議室 15 名

個人利用者 5 名、おはなし会ボランティア 2 名、児童館 1 名、榴岡図書館職員 7 名

4 懇談会内容

図書館から平成 26 年度の図書館事業の概要と取り組み状況について説明、出席者全員から意見や要望をもらい、説明や回答を行った。

出席者からの主な意見・要望

市民図書館

- ・本日の会議の配布資料の説明で、要望として考えていたサービスや行事が既にあることが分かった。なぜ必要とする人に情報が届いていないのか。情報発信の方法が拙劣なのではないか。待っているだけではなく、回数ややり方を考え、積極的に外に出すことが必要である。
- ・図書館の発行物やホームページは魅力が不足している。
- ・子供が本を読まなくなり、年齢が上がると差が開いていく。このような子供をどうやって図書館に足を向けさせるか。実際に育児中の人の声を拾うことで子供を図書館に向かわせることにつながるのではないか。
- ・小学校から、「朝読書用パッケージ」は、学年によるレベル分け等、要望を受けて改善され利用しやすくなったとの意見あり。
- ・仙台市の学校連携の仕組みは他地域の人からは驚かれるくらい進んでいるとの評価あり。
- ・ブックトークボランティアから、自家用車に貸出用図書を積んで分乗して学校に移動しているが、実施件数が増え限界を感じているとの意見あり。
- ・レファレンスの対応に満足しているとの意見あり。
- ・地域文庫への貸出や児童館への団体貸出など、マイクロバスなどで図書を運搬してくれるサービスがあるとよいとの要望あり。
- ・コーナーに資料を展示するだけではなく、図書館員の一言コメントがあれば、手に取るアクションにつながるのではないか。

泉図書館

- ・開館時間の延長についての要望あり。
- ・視聴覚資料の充実や視聴スペースの拡大についての要望あり。
- ・喫茶コーナーの活用方法についての提言あり。
- ・ボランティア同士が交流できる機会の設定要望あり。

宮城野図書館

- ・利用者マナーについて啓発するよう提言あり。
- ・おはなし会の開催時間を遅らせてはどうかとの提言あり。
- ・障害者サービスへの積極的取り組みをいかし、視覚障害者の活動を支援する団体等と連携した企画を実施してはどうかとの提言あり。
- ・イベントの広報を市民センターと連携して実施することについて提言あり。
- ・市民センターには地元学の冊子作成に使用した資料があるので活用できないかとの提言あり。

若林図書館

- ・図書資料の装備や配架の仕方について提言あり。
- ・特集コーナーの展示が変化に富んでおり楽しみにしていると共に読書の幅の広がり役立っているとの意見あり。
- ・おはなし会開催中の表示について提言あり。
- ・図書修理ボランティアから、文庫やコミックなどの修理件数に比べて詩集や小説の修理が少なくなっており、利用が減っていることが窺われるとの意見あり。
- ・同じ建物内の市民センターから、行事が重なった場合、一緒にPRし共存する方法も探りたいとの意見あり。
- ・小学校から、小学生の公共図書館利用学習は有意義であり、図書館の利用にもつながっているとの意見あり。
- ・小学校から、小学4年生対象のブックトークは魅力的な活動であり、子どもの読書活動につながっているとの意見あり。

太白図書館

- ・視聴覚資料の充実についての要望あり。
- ・配架ボランティアから、活動中に利用者から尋ねられた内容を記載するノートがあれば図書館業務の参考になるのではないかと提言あり。
- ・図書館で、地域の人が本を持ち寄り情報交換する場の提供があると良いとの提言あり。
- ・図書館が行っているサービスの利用者への周知が課題であるとの意見あり。地下鉄駅に図書館でのイベントを紹介するコーナーを設置したり、バス停に小学生の書いた図書館の案内を設置するなど、他都市の状況を参考とした提言あり。
- ・小学校から、来年、教科書が変わるので、教科書に出てくる作者の関連本についての教員からの問い合わせが増えると思われ、よろしくお願いしたいとの意見あり。
- ・児童を対象とした事業が多いが、これからは年配の人も楽しめる行事も企画して欲しいとの要望あり。

広瀬図書館

- ・行事の実施時間や実施時期についての要望あり。
- ・「本の福袋」の通年開催について要望あり。
- ・図書館行事のPR・広報に力を入れるよう要望あり。また、掲示物だけではなく、カウンターでの図書館員の声掛けも重要であるとの意見あり。
- ・図書館を利用していない人へのPRとして、町内会の回覧板を利用したり、幼稚園や小中学校を通じて広報してはどうかとの提言あり。
- ・紙芝居や各年代向けの資料の配架方法について要望あり。また、展示資料に選んだ人の名前を表示すると親しみやすいのではないかと提言あり。
- ・10代や中高生向けの事業が少なく、これがアンケート結果にも表れているのではないかと意見あり。
- ・「レファレンス」という言葉自体になじみがないとの意見あり。また、図書館員が忙しそうであるため時間のかかる調べものを依頼しにくいとの意見あり。

榴岡図書館

- ・ 高校生の選書サポーターから、実施回数増や他館の選書サポーターとの連携の要望あり。また、選書サポーター募集時のPR方法についての提言あり。中高生向けの事業が少ないとの意見あり。
- ・ 図書館の現場出張サービスや、高齢者と子供が一緒に参加できる事業の開催について提言あり。
- ・ 本の展示テーマを募集してはどうかとの提言あり。また、同居する生涯学習支援センター実施事業に関する展示等は、生涯学習支援センターと図書館相互にとってメリットとなるので良いとの意見あり。
- ・ おはなし会開催など、1Fの展示フロアの有効な活用についての提言あり。